

1 事業名

令和元年度教育事業 「体験の風をおこそう」運動協賛事業  
「えいご de ハロウィン～はじめの一步～」

2 趣 旨（事業の目的）

外国人講師や仲間との活動をとおして、英語に慣れ親しむとともに、異なる学校・学年同士での共同生活をとおして人と関わる力や集団生活のマナーの育成を図る。

3 期 日 2019年10月4日（金）～10月6日（日）2泊3日

4 参加者 滝沢市内の小学3・4年生 42名

5 後援・企画協力 滝沢市教育委員会

6 協 力 滝沢市国際交流協会  
盛岡大学地域連携推進センター

7 内 容

（1）日程

10月4日(金)

10月4日(金)	現地集合						17:30~18:00	18:00	18:30	19:30	20:30	21:30
							受付	施設の使い方	夕食	レクリエーション	入浴	就寝

10月5日(土)

10月5日(土)	6:30	7:00	7:30	8:30	9:00	9:30	10:30	14:00	16:00	17:30	18:30	20:30	21:30
	起床	朝のつどい	朝食	荷物整理	はじめの会	えいごdeゲーム	えいごdeクッキング (うどん打ち&カレー)	えいごdeウォークラリー	ハロウインの飾りを作ろう!	夕食	ハロウインの衣装を作ろう!	入浴	就寝

10月6日(日)

10月6日(日)	6:30	7:00	7:30	8:30	8:45	9:00	12:00	13:00	14:00	現地解散
	荷物整理	朝のつどい	朝食	清掃活動	退所点検	ハロウインパーティーの準備	昼食	ハロウインパーティー 保護者の参観可能!!	終わりの会	

## (2) 指導者

国立岩手山青少年交流の家	副主任企画指導専門職	工藤祐幸
	企画指導専門職	林田健志
	事業推進係	日比野功宜
	事業推進係	菅野凌太
指導補助	法人ボランティア	8名
外国人講師	留学生・英会話教室講師	7名

## (3) 企画のポイント

指導要領の改訂に伴い、小学校で英語授業が導入されることを踏まえて、外国人や異文化に触れる活動を通して、英語に親しむことができるように本事業を企画した。

プログラムについては、参加者の対象を英語の授業の導入期にあたる3・4年生としたため、楽しく英語に親しむことができるようなゲームやウォークラリー、創作活動やハロウィンパーティーなど子どもたちが興味関心を持って取り組める活動内容で構成した。

また、対象が3・4年生で初めて親元を離れて宿泊したり他校の子どもたちと活動したりする不安を和らげるために、学生ボランティアを各班のグループリーダーとして配置し、子どもたちが安心して活動に参加できるように配慮した。

さらに、いつでも気軽に英語に触れることができるように、外国人講師を各班に配置し、様々な活動と一緒に取り組む中で、英語に触れたり外国の文化や生活習慣の違いを感じたりすることができるようにした。

## (4) 広報のポイント

今年度は、滝沢市内の小学校3・4年生限定で本事業を行ったため、滝沢市内の小学校3・4年生全員にチラシを配付した。また、当施設のホームページでも事業日程を掲載してきた。報道機関へも、開催要項とチラシ、ポスターを送付した。

## (5) 運営のポイント

初めて親元を離れて宿泊することや他校の子どもたちと一緒に活動することに不安を感じている子どもたちの気持ちをリラックスさせ、楽しい気持ちで3日間を過ごすことができるように初日と2日目にレクリエーションやゲームの時間を設定した。また、班のグループリーダーを中心にまとまりを強め、班としての一体感をもって活動できるようにクッキングやウォークラリー、ハロウィンパーティーの準備等、班ごとの活動を多く設定した。

2日目からは、外国人講師を各班に配置し、参加者と一緒に活動するように計画した。また、2日目のウォークラリーから3日目のハロウィンパーティーまでは、ストーリー性を持たせたプログラムの構成にした。ウォークラリーで、各チェックポイントを回りながら画用紙やビニール袋などのアイテムを手に入れる。それらを使って、ハロウィンパーティーの飾りを作ったり、衣装を作ったりする。さらには、ハロウィンパーティーで自分たちが作った衣装を着て班ごとのファッションショーを行い、出し物を発表するという流れにした。

これらの様々な活動に班の仲間や外国人講師と一緒に取り組むことで、子ども同士だけではなく外国人講師とも交流を深め、気軽に英語や外国の文化に触れることができるようにした。

## 8 成果とその普及

参加した子どもたちからは、「いろいろな英語を覚えることができた。」「英語は少し難しかったけど、英語の言葉を聞いたり覚えたりすることが楽しかった。」「みんなで協力してウォークラリーをして、集めたアイテムでハロウィンパーティーの衣装を作ることができて良かった。」「ハロウィンの衣装や飾りをパーティーに向けてみんなで作って楽しかった。」「最初は緊張したけど、他の学校の人と友達になれたので良かった。」「みんなで協力したり、ここでしかできないことを体験したりすることができた。」「友達も増えたい知らない人とも話すことができたのでいろいろなことが身についた。」「留学生のお兄さんお姉さんと遊ぶのが楽しかった。」「留学生のお姉さんが、うどん打ちがとても上手で驚いた。」など、一つ一つの活動も楽しいが、他の学校の人と友達になれたことや、外国人講師の留学生と活動したことが楽しかったという感想が多く寄せられた。活動中の様子からも、英語に慣れ親しむだけではなく、コミュニケーション能力の向上にもつなげることができた。2泊3日という短い期間ではあるが、子どもたちが十分に満足できる活動を提供できたものとする。

## 9 今後の課題

「英語」を活動の主とした事業をする上で、英語を話す外国人講師の存在は欠かせない。しかし、身近に講師として協力していただける外国人がいないという現状がある。今年度の事業は、滝沢市国際交流協会の協力を得ながら、4月当初から外国人講師を探していたが必要な人数の講師が見つかるまでに3ヶ月以上もかかった。また、協力していただける外国人講師が見つかったとしても、事業を企画していく段階から打ち合わせに入ってもらうことが難しく、少ない回数の打ち合わせの回数で不安の残る状態のまま本番を迎えなければならないという状況があった。今年度は、主な外国人講師として、近隣の大学の留学生に協力してもらったが、本番までの打ち合わせは2回しか行えなかった。その結果、こちらが求めていた活動内容や時間配分と大きく異なり、その後の活動を変更しなければならないという場面があった。

日程の面では、2泊3日という期間が、小学校3・4年生にとっては長く、疲れを訴えながら最終日の活動に参加していた子どもも多く見られたので、活動の中身とともに期間も検討していく必要がある。また、小学校3・4年生という幼さを考慮し、各班に配置する学生ボランティアの数を増やし、宿泊や集団活動に不安を感じる子どもたちや、指示や活動に戸惑う子どもたちを十分にサポートできる体制や組織で運営にあたる必要がある。

これらの課題点を改善し、次年度以降もより充実した魅力ある国際交流事業を企画・運営できるように努力していきたい。



外国人講師として協力していただいた留学生と英会話教室の講師



2日目の昼食として、外国人講師と一緒にいったうどん打ち



外国人講師と一緒に盛り上がった、ハロウィンに  
関係する楽しいゲーム



班ごとにファッションショーや出し物を発表したハロウィンパーティー